

かんしゃ



5月号

2022
Vol.201

お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。



地域の困りごとはみんなで解決 みんなで楽しめるNewスポーツ誕生!



スティックフロアーカーリングって??

デッキブラシ状のスティックを片手に、キャスター付きの木製ストーンをお互いに弾き合い、点数を競い合うゲームです。



「このままでは地域の繋がりが薄くなってしまふ。何か良い方法はないか」多良見西地区では、年を重ねるにつれ運動ができる高齢者の数が減少し、親睦を図る機会が少なくなりました。ちょうどこの頃、平昌オリンピックのカーリングが日本でブームになり元釜自治会の江崎勝義会長は「これなら誰でもできる!」と思い、自らカーリングを製作。

多良見西地区・社会福祉協議会(会長・林田美津枝)のふれあいいきいきサロン(元釜活き生きサロン)では、スティックフロアーカーリングを取り入れ参加者全員で楽しんでいきます。考案者の江崎さんは「この活動が地域のつながりを保つきっかけとなり、諫早市内全体に広がってほしい」と願っています。また、地域活動の想いに共感した西部地域包括支援センターでも、地区社協と連携しスティックフロアーカーリングの周知や、ゲームなど楽しい活動を通して地域の介護予防を進めています。

林田会長は「この活動がきっかけで誰でも集える交流の場を増やし、何かあっても支え合う関係を築いていきたい」と今後の想いを話します。

地区社協の活動は、みなさんの身近な活動であり、さまざまな方の連携、協力により成り立っています。

お知らせ) あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の題字とイラストをお寄せください!

■応募方法: 諫早市社会福祉協議会のHPから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送ください。

採用された方にはクオカード500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストはおおたしゅうまくん(6才)、文字はいけぞのきいちくん(9才)、ひろせあやなちゃん(4才)に書いていただきました。ありがとうございます。

体験してみませんか!?

元釜活き生きサロンではスティックフロアーカーリングの見学・体験を受け付けています。詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ 24-5100
(諫早市社会福祉協議会)

緑の下の力持ち！ あなたのまちの地区(校区)社会福祉協議会

諫早市にはおおむね小学校区を単位として20地区の社会福祉協議会があります。

地区社協ってなに？

自治会・町内会の枠を超えて民生委員・児童委員、福祉協力員、地域のボランティアなど様々な団体が横のつながりで構成された住民組織です。地域内の様々な困りごと（ひとり暮らし高齢者の孤立、子どもの登下校が不安など）を少しでも良い方向に導くために活動をしています。

地区社協ってどんなことをしているの？

話し合う

- ・困りごとを把握し共有する
- ・解決に向けて考える
- ・自分たちが目指すまちを想像し行動計画を作成する

振り返る

- ・まちづくりを実践し、振り返る→地域の福祉力（課題を解決する力）を高める

つながり実践する

- ・様々な団体とつながる
- ・制度・サービスの活用や新たな取り組みを実施する
- ・今ある制度やサービスについて提言・提案する

具体的な活動のみてみよう!!

話し合う

長田地区・社協では、自分たちの地域を自分たちで良くするために話し合いを重ねています。話し合いの中で「集いの場に来ていない人ほど助けが必要」という意見が出ました。この課題に対して、見守りを兼ねてふれあい食事サービス（食事の配布）を継続して実施していくと計画が決まり、また今後5か年の取り組みとして地域福祉活動計画を作成しました。

地域の困りごとは地域で解決。今後も話し合いを重ねより良い地域になるよう、地区社協一丸となって活動していきます。



つながる

上諫早地区・社協では、児童が一人一鉢、心を込めて育てた花に手紙を添え、ひとり暮らし高齢者へ届ける取り組みをしています。この花は卒業式で飾られ、その後、民生委員を通じて届けられます。鉢はきれいに装飾され、心あたたまる手紙に高齢者もにっこり。

地域を大切にすることを育みたいと、地区社協と小学校が連携し、活動が実現しました。門出に彩りを添えた花が、地域の新たなつながりの種へと生まれ変わります。



実践する

西諫早小学校区・社協では、子どもたちの登下校の見守り活動や防犯ベル寄贈を通して安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。普段の活動からお互いの顔が見える関係が築かれており、顔を合わせれば笑みがこぼれ、自然と会話が弾みます。

日々の小さな活動の積み重ねが、笑顔あふれる安心・安全な地域づくりにつながっています。



■ 地区社協はあなたの身近な応援団

地区社協はそれぞれの地域の特性にあった活動をしています。地域を支えるためには、みんなの力が必要です。「自分の地域での活動に参加してみたい」、「地域の活動を知りたい」もしくは「困りごとを相談したい」場合には、各地区社協もしくは市社協へご連絡ください。



振り返る

■ つながりを絶やさないために

コロナ禍で、人が集い、顔を合わせて交流する活動が制限されるという、これまでにない事態。そうした状況にあっても、地域でのつながりが途切れることがないように。

地区社協会長会では、Web会議の体験を行い、オンラインでつながる方法も考えました。



つながりを絶やさないように、今後もよりよい地域づくりをみんなで目指していきましょう。

地区社協会長会議のもよう
地区社協相互の情報交換や連絡調整を行っています。

人と人との温もりを 感じるまちに

小野地区社会福祉協議会

小野地区つってどんなところ

小野地区は、諫早市の南東部に位置する県内でも有数の米どころです。

大型商業施設の建設や人口の増加が見込まれ、地区が大きく変わろうとしている中、小野地区社協は、昔からある隣近所とのつながりを大切に受け継ぎ、人と人とのふれあいや温もりを感じられる地域を目指しています。

人と人をつなぐ

同社協は、住民同士による見守りやふれあいを目的として、75歳以上のひとり暮らしの方に手作りのお弁当を配布しています。お弁当には、この活動の趣旨に賛同した地元の人たちから提供された地元の食材をふんだんに使い、婦人会の手によってボリュウムたっぷりのお弁当となっています。また、お弁当と一緒に届けられる絵手紙は、小野地区の子どもたちが、季節の野菜などを心を込めて描いた一枚一枚の手作りです。「いつまでもお元気でいてください」など一言添えられた絵手紙に込められた思いが高齢者の気持ちを温かくし、小学校にはお礼の電話が届くこともあります。

会長	永尾 久美子
人口	5,495人 (令和4年3月1日現在)
高齢化率	32.4%

小野地区社会福祉協議会つって どんなことしているの？

- ふれあいいきいきサロン(5箇所)
- ふれあい食事サービス(年2回)
- ひとり暮らし高齢者の集い(年1回)
- 広報紙発行(年2回)
- 福祉協力員設置(13人)
- 新入学児童への防犯ブザー贈呈



コロナ禍でこの2年間は、子どもが集まることができませんでしたが、絵手紙は、婦人会が引き継いで今でも続いています。
民生委員や福祉協力員がお弁当を届ける時は、玄関先で心待ちにしている方も多く、お弁当や絵手紙のことで話が盛り上がり、自然と見守りやふれあいにつながっています。
永尾会長は、「ふれあい食事サービスには、様々な人が係ること、民生委員や婦人会、福祉協力員、子どもたちなどの地域のつながりが育まれている。小野地区の良さである人の温かさを引き継ぎ、気軽に声をかけ、助け合う地域をつくっていききたい」と力強く今後の抱負を語りました。

「ウクライナ人道危機救援金」受付のご案内

日本赤十字社では、ロシアによるウクライナ侵攻で命と生活が脅威にさらされているウクライナ市民への支援のため救援金を受付けております。

- ▶ 受付期間：令和4年5月31日(火)まで
- ▶ 受付方法：ゆうちょ銀行等への振込
窓口に持参(諫早市社会福祉協議会)

詳しくは、下記までお問い合わせください。

日本赤十字社長崎県支部諫早市地区
事務局：諫早市社会福祉協議会
電話：24-5100



～あなたの協力がだれかのために～

毎年5月は「赤十字運動月間です」
諫早地区においては、自治会を通じて各ご家庭へ活動資金の協力依頼をさせていただいております。他にも、企業・団体の皆様による活動資金の受付も行ってまいります。
ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「ウクライナの子どもたちの平和のために……」

諫早市保育会(古川利光会長)より、日本赤十字社の「ウクライナ人道危機救援金」へ温かいご支援を頂きました。
「保育に携わっている者として少しでも子どもたちの救済に役立てて欲しい」と古川会長。
一日でも早くウクライナに平和が戻りますように。



日本赤十字社長崎県支部諫早市地区長 大久保潔重(中央)と諫早市保育会 古川会長(右から3人目)

※地区社協とは、おおむね小学校区を単位とし、地域やその住民が抱えている課題を発見し地域でその解決に向けて取り組んでいくための住民組織です。

令和4年3月に開催されました諫早市社会福祉協議会理事会・評議員会において、令和4年度の事業計画・予算が承認されました。職員一同心新たに地域福祉活動に努めてまいります。

社協のお財布事情

～ある家庭のひと月（手取り35万円）に例えると？～

収入

○給料	
・基本給 (市補助金・共同募金配分金)	112,770円 (86,345,000円)
・諸手当 (会費・寄付金)	7,185円 (5,501,000円)
・他収入 (市・県社協からの受託金)	50,594円 (38,738,000円)
○会社勤務の長男が毎月納める食費など (各種団体事務負担金収入受取利息など)	5,326円 (4,078,000円)
○貯金の取り崩し (基金積立資産取崩) (各事業間による資金移動)	145,687円 (111,549,000円)
○繰越金 (前期末支払資金残高)	28,438円 (21,774,000円)
収入合計	350,000円 (267,985,000円)

支出

○家賃 (法人運営事業)	171,815円 (131,554,000円)
○光熱費 (施設管理経営事業)	44,234円 (33,869,000円)
○食費 (地域福祉推進事業)	69,291円 (53,054,000円)
○共益費 (共同募金配分金事業)	21,022円 (16,096,000円)
○教養費 (ボランティア活動推進事業)	20,775円 (15,906,000円)
○保険料 (福祉総合相談支援事業)	20,493円 (15,691,000円)
○教育費 (福祉教育推進事業)	2,370円 (1,815,000円)
支出合計	350,000円 (267,985,000円)

用語説明

- 地域福祉推進事業……住み慣れた地域で安心して暮らせるために地域住民が支え合う活動を推進する事業。例) 地区社協助成金等
- 共同募金配分金事業……赤い羽根共同募金を財源とした事業。例) 黄色い帽子贈呈事業等
- 福祉総合相談支援事業……地域の方が気軽に相談でき、悩みや不安を解消できるよう取り組む事業。例) ふれあい福祉相談等
- 福祉教育推進事業……普段の生活や学習の中で「ふくし」を学ぶことを推進する事業。例) 障害児(者) 美術手工芸作品展開催等

令和4年度事業計画書及び決算書は
ホームページにて公表しております。



特別会員紹介 (株)フジオカ

本会特別会員である(株)フジオカ様のご厚意と、本会からの生活応援の意味を込めて、諫早市社協公式LINEにご登録していただくと「セルフ多良見中央給油所」様で使えるガソリン6円/ℓクーポンをプレゼントいたします。ご協力に感謝。



登録はこちら



5月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

一般相談	開設日	月曜日～金曜日(祝祭日を除く)
	開設時間	午前10時～午後3時
	場所	ふれあい福祉相談センター (諫早市社会福祉会館内) 【専用電話】23-7022

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。

無料専門相談	開設日	5月27日(金) 司法書士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

※専門相談は、10日前までに予約をお願いします。

編集発行 社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL 0957-24-5100 FAX 0957-24-5101
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)



諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報誌に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。